地域防災力を向上させよう
～縁プロジェクトの防災活動～

縁プロジェクトは、大田区などと連携して被災地・被災者および避難者への復旧・復興支援ボランティア活動を長期継続的に行っています。そして、この活動で培った経験やネットワークを活かしながら、大田区内で地域防災力の向上のために防災セミナーや避難所体験教室を開催しています。被災した現場を知っている私たちならではの視点で、より堅固な「地域力防災活動」を実施しています。

「防災リーダーになろう！」（消費者生活センター１階教室）　H28.04.16（土）

大規模災害時での避難所開設当初の避難所運営組織の業務を疑似体験することで、実際の発災時にスムーズな対応ができる能力を養う模擬体験ゲーム（HUG）を行い、併せて大田区の防災語り部から、宮城県東松島市での災害ボランティア活動を通じて学んだことを話し、命を守ることを伝えました。

参加者でHUGをする

「大田区＆東松島市 絆音楽祭　ＴＴＴ講演」（日本工学院専門学校）　H28.05.28（土）開催

ＴＴＴの正式名称は「ＴＳＵＮＡＧＵ　Ｔｅｅｎａｇｅｒ　Ｔｏｕｒｇｕｉｄｅ　ｏｆ　ＮＯＢＩＲＵ」。東日本大震災当時、東松島市立野蒜小学校に在籍していた子どもたちで結成された若い語り部のグループです。懸命に生き延びて５年経った今、被災した当時のことを語ってくれました。

会場の皆さんも真剣に聞き入り、ふたりが生き延びたことに大きな拍手で応えました。

（写真上：斉藤茉弥乃さん　写真下：小山綾さん）

「女性の視点から災害避難所を考える」（エセナおおた）　H28.06.25（土）開催

災害避難所はとかく男性中心で運営されているところが多いと聞きます。

そこで、女性が避難所の運営に携わらないとどんな弊害があるのかを、実際に東日本大震災時に避難所の運営に携わった、東松島市の松浦奈々子さんを迎えて考えました。

たとえば、トイレ・着替え・授乳の場など、避難所内の施設のことを中心に体験談を聞いて、参加者皆で避難所の運営を考えました。

なお、この講座は、男女平等推進センター「エセナおおた」と協働しました。

「避難所運営ゲーム（HUG）」（大森第三中学校）　H28.07.13（水）開催

災害が起こったら、大田区立の小中学校は避難所になります。学校の先生には大きな役割が課せられます。大森三中において先生方を対象にＨＵＧを行いました。さすがに先生たちは素早い判断をしていました。

↑左奥が講師の松浦奈々子さん

↓次々に繰り出す課題にさすがの先生方もとまどう（大森三中）

「出前防災セミナー（HUGと講話）」（山王１・２丁目自治会）　H28.11.21（月）開催

避難所を運営するリーダーは苦悩の連続です。山王高齢者センターにおいて、山王１・２丁目自治会の皆さんと共に、ＨＵＧ(避難所運営ゲーム)で次々と読み上げられるカードに示された避難者の事情や刻一刻と変わる状況を考慮しながら課題の解決に取り組みました。

後半は東日本大震災の被災時の様子と現在の状況を紹介し、まだ復興の途上であることを伝え、また熊本地震の支援ボランティアの様子もお話しました。

←今年度初めての地域で行った「出張出前防災セミナー」でした。

【一番大切なこと】
大災害が起きたとき、最優先にすることはなんでしょう？

・・・それは
もちろん！

自分の身を
自分で守ること！！